

2014 Motoshi Kosako Japan Tour ・ 関西公演

ジャズ・ギターリスト

GUITAR **笹島 明夫**
AKIO SASAJIMA

ジャズ・ハーピスト

HARP **古佐小 基史**
MOTOSHI KOSAKO

5/31(土)

7:00PM (OPEN 6:00PM)

ジャズライブと広東料理のお店
“Left Alone”

芦屋市東山町4-13

ミュージックチャージ：2500円

○JR芦屋駅下車、北出口より徒歩15分

○JR芦屋駅、阪急芦屋川駅前から
タクシーで1メートル

電話：0797-22-0171

HP: www.left-alone.jp

Eメール: info@left-alone.jp

6/1(日)

6:00PM (OPEN 5:00PM)

ジャズライブと本格ビストロのお店
“azul”

大阪市北区茶屋町4-4

茶屋町ガーデンビル5F

ミュージックチャージ：2500円

○地下鉄御堂筋線梅田駅 徒歩3分

○阪急線梅田駅 茶屋町口 徒歩2分

○JR大阪駅 徒歩5分

電話：06-6373-0220

HP: www.azul-umeda.com

卓越したテクニックとスリリングな即興演奏によりハープの常識を覆す演奏で注目される在米ハーピスト、古佐小基史と、ロン・カーター、ジョー・ヘンダーソン等の共演など70年代からアメリカのジャズシーンで活躍する在米ギターリスト、笹島明夫による初のデュオ公演。斬新なハープ・サウンドと本格的ジャズギターのコンビネーションをお楽しみ下さい。

出演者プロフィール

古佐小 基史 (こさこもとし) : ハーピスト。1971年生まれ。愛媛県松山市出身。現在アメリカ、カリフォルニア州首都サクラメント市の郊外、シエラ・ネバダ山麓に在住する。高校卒業後は東京大学に進学、1996年に同大学医学部保健学科で看護師と保健師の資格を取得し卒業。その後1年間、東京大学医学部付属病院精神神経科に看護師として勤務、1997年に渡米する。

3歳から12歳までの9年間、ピアノの個人レッスンを受ける以外は独学で音楽を学ぶ。中高時代はエレキギターを演奏し、アマチュアのロックバンドで活動。大学入学後は東京大学ジャズ研究会に所属し、1992年から渡米するまでの間は、プロのジャズバンドでギターを演奏する。

渡米後は主にクラシックギターを演奏するが、1999年に心機一転しギターからハーブに転向する。ほとんど独学で演奏技術をひとつひとつ習得した後すぐに演奏活動を始め、2006年よりストックトン交響楽団の主席ハーピストに就任、サクラメント、ストックトン地域のトップハーピストとしてソロリサイタルや各種イベントでの演奏活動にも積極的に参加する。2002年、2003年にソロハーブクラシックCD "Celestial Harp I & II" をレコーディングする。

その後、ジャズギターリストとして目指していた音楽活動をハーブでも展開、2007Lyon & Healy(全米最大のハーブメーカー)主催のInternational Jazz&Pop Harp Competition(ライアン&ヒーリー国際ジャズポップ・ハーブコンクール)において、日本人としては初めてペダルハーブ部門で二位に入賞する。テレビニュース、ラジオのインタビューとスタジオ生演奏、雑誌社主催の"Best of Sacramento"受賞など、アメリカのマスメディアにおいてもジャズハーピストとして紹介される。アメリカのハーブ専門誌"ハーブコラム"では、「日本出身で二位受賞Motoshi Kosakoは、ジャズピアニストのキース・ジャレットを思わせる内省的な即興で特筆に価する。」との評価を受け、ジャズハーブのパイオニアの一人として活躍が期待される。2008年3月には、ドラムとベースを起用した全曲オリジナルのジャズハーブ・トリオのアルバム "Naked Wonder"をリリースする。

近年の活動としては、2009年6月に横浜みなとみらいでの「ハーブの未来2009」への出演、東京、横浜、三重県津市、愛媛県松山市での再来日コンサート、ワークショップを開催。同年11月のストックトンシンフォニー(カリフォルニア)でのコンサートにおいては、モーツァルトによるハーブとフルートのための協奏曲のソリストとして出演するほか、グラミー賞受賞アーティスト、ポール・マキャンドレス氏(オーボエ、イングリッシュホルン、ソプラノサックス、バスクラリネット)との即興演奏を主体としたコラボレーション活動も開始し、2010-11年秋に来日公演。2010年には、マキャンドレス氏とのデュオアルバム、"Place in the heart"をリリースする。作曲家としても、ドキュメンタリー番組(南海放送制作)「一枚のアラスカ-写真家松本紀生、17年目のアラスカ」「かまぼこ板の絵と日本-短い手紙」に音楽を提供。アメリカ西海岸、日本での演奏活動に加え、2013年5月にはブラジル、リオ・デ・ジャネイロ・ハーブフェスティバルにも参加、ソロ・アルバム"On the way home"をリリース。2014年にはアメリカ・ハーブ協会の総会(ニューオリンズ)、世界ハーブ会議(シドニー/オーストラリア)での演奏も予定されている。

笹島明夫 (ささじまあきお) : ギターリスト。1952年北海道函館市生まれ。札幌西高校2年生でギターを始め、3年生の時ウェス・モンゴメリーのアルバムを聴きジャズに目覚める。23歳の時に札幌で活動中を渡辺貞夫に認められ1年間上京したが、'77年渡米

'78からシカゴに住む。'79第1回シカゴ・ジャズフェスティバルに出演。'81~'85年 ブラジリアン・ジャズ・グループ Som Brasil に参加、初レコーディング。その後シンガー/ピアニスト ジュディ・ロバーツの録音に参加。'87年にジャズ界の巨人ジョー・ヘンダーソンを迎え、初リーダー・アルバムAKIOをMuse Recordsより発売、世界的に評価を受ける。

歴史に残るジャズ・オリジナルの作曲家としても知られるヘンダーソンから作曲力を評価され、ヘンダーソンは晩年まで笹島のオリジナル、Waltz For Evans をレパートリーに加えていた。その後ロン・カーターとのデュオ・アルバム、ハービーS+ビクター・ルイスとのトリオ・アルバムを同 Muse Records リリース、さらに評価を高める。ニューヨークでも頻繁に活動をし、Blue Note, Birdlandなど一流ジャズクラブの他、カーネギーホールでも演奏。

その後も色々なレコーディング・プロジェクトに参加し、2004年にはシンガー、カーラ・ヘルムブレクトと、2005年にはロン・カーターとの再会セッションを日本M&Iよりリリース。

最新版は2012年にリリースされたカーラとの再会デュオ・アルバムQuiet Intentions (米A.W. TONEGOLD RECORDS)で2014年度グラミー賞の第一投票を通過した。

これまでに笹島が共演、ツアーを共にした著名プレイヤーは、ランディ・ブレッカー (tp)、ジミー・コブ (ds)、ドン・フリードマン (p) バスター・ウィリアムス (b)、トミー・キャンベル (ds)、エディ・ゴメス (b)、ジーン・ジャクソン (ds)、バキート・ディリベラ (alt,cl,sp)、エディ・ヘンダーソン (tp) 渡辺貞夫、日野皓正など多数。